

AP-19. 50m
(7712AP+8 50m)

、タイロッド

控え直杭 H-300×300×10×15
(SS400); c t c=2.40m

粘性土層

円形さべり抑止用
H鋼杭 H-400×400×13×2
L=20.0m(SS400); c t c=1.0m

AP-23. 15m

AP-29. 80m
AP-31. 35m

AP-36. 33m

石積のH鋼部分は連壁にならない

私有地にかかる

X



砂質土層 (Yls)
 AP-29.80m
 粘性土層 (Nac)
 AP-31.35m
 砂質土層 (Tos)
 AP-36.33m

工法の評価について

| | |
|-----------------------|---|
| 1 透水性の確保 | |
| 石積部分は確保。矢板部分には孔を開けて確保 | ○ |
| 2 生物への寄与 | |
| 石積部分が着面、隙間、水みちを創出 | ○ |
| 3 親水性 (水辺へのアプローチ) | |
| 石積部分がアプローチとなる | ○ |
| 4 液化化・圧密沈下への対策 | |
| 嵩上げ等による事後対応となる | △ |
| 5 施工性 | |
| 従来の陸上工事で可能 | ○ |
| 6 背後地への影響 | |
| 私有地にかかる | X |

二重矢板の内、背面矢板が私有地に入るため、現地では適用できない。

石積のH鋼部分は連壁にならない